

町会報

えひめ

2013

1

Vol.46

発行所／愛媛県町村会・愛媛県町村議会議長会
〒790-0001 松山市一番町4丁目1番地2
TEL089-941-7598(代表)
FAX089-945-1318

西予市「いのしちゃんコロッケ」ほか

①「いのしちゃんコロッケ」

ごぼうとたまねぎの風味が効いた一品。独特の臭みもなく、栄養豊富ないのしし肉を可愛く美味しくいただける。

②「アジのあらい」

氷で締められた奥地アジは脂がのっているのに後味さっぱり。市内外にファンも多い。

③「みかんずし」

みかんジュースで炊いたお寿司。さわやかな風味が味わい。



①



③



②

Contents

町村会第4回全員連絡会	2
新町長紹介	2
全国町村会正副会長交流会	2
町からのお知らせ	3~4
町村会・議長会定期総会順序	4
随想 土居計彦上島町議会議長	5

議長会第4回定例会	6
県選出国會議員への要望(町村会)	6
全国監査委員協議会定期総会	7
一筆	8
1月の行事	8
編集後記	8

第66回定期総会に向けて

第4回全員連絡会

県町村会は、1月18日県自治会館で「平成24年度第4回全員連絡会・災害共済支部委員会」を開催した。

会議には、白石会長、中村副会長、阪本監事、上村上島町長、高野久万高原町長、稲田内子町副町長、山下伊方町長、甲岡鬼北町長及び清水愛南町長が出席。

会議は次のとおり進められた。

- 1 開 会
- 2 あいさつ 白石会長
- 3 協議
- (1) 特定地域再生制度について

猪熊内閣官房地域活性化統合事務局次長から、地域再生法が昨年11月1日に開催されて成立した、特定地域再生制度について説明があった。

(2) 生物多様性えひめ戦略について
山本県自然保護課長から、平成23年12月に策定した「生物多様性えひめ戦略」について説明があった。

(3) 平成23年度決算について
(1) 愛媛県町村会一般会計決算
事務局から説明があり、定期総会に提出することに決定した。

(2) 財全国自治協会愛媛県災害共済支部決算
(3) 全国町村職員生活協同組合愛媛県支部決算
事務局から説明があり、いずれも認定することに決定した。

(4) 平成24年度愛媛県町村会一般会計補正予算(第1号)(案)について
事務局から説明があり、原案のとおり決定した。

(5) 平成24年度全国自治協会愛媛県災害共済支部一般会計補正予算(第1号)(案)について
事務局から説明があり、原案のとおり決定した。

(6) 平成25年度事業計画及び本会会費の分賦方法並びに予算について
(1) 事業計画
(2) 本会会費の分賦方法

(3) 愛媛県町村会一般会計予算
(4) 愛媛県町村会特別会計予算
事務局から、それぞれ説明があり、原案のとおり定期総会に提出することに決定した。

(5) 全国町村職員生活協同組合愛媛県支部予算
事務局から説明があり、原案のとおり決定した。

(7) 本会第66回定期総会について
事務局から説明があり、原案のとおり開催することに決定した。

(8) 次回の全員連絡会は、正副会長に一任された。

都道府県町村会正副会長交流会開く

全国町村会は、1月25日全国町村会館で「都道府県町村会正副会長交流会」を開催した。本会からは白石会長、中村副会長及び事務局長が出席した。

会議は、藤原全国町村会長の挨拶に始まり、来賓の坂本総務副大臣、高橋全国町村議会議長会長から挨拶があった。

次いで、自治功労者表彰が行われた後に、東京大学名誉教授の大森彌氏から「町村の存亡がかかる道州制」と題する講演を聴講。

最後に都道府県町村会の正副会長等と意見交換が行われ、盛会に終了した。

新町長紹介

任期満了に伴う内子町長選挙が1月22日に告示されたが、現職の稲本隆壽氏のほかに立候補の届け出がなく、同氏が無投票で再選された。

内子町長

稲本隆壽氏



町からの お知らせ

愛南町のイメージキャラクター (ゆるキャラ)の デザインを募集します

愛南町では、美しい自然景観や豊かな食文化をPRし、愛南町の多様な魅力や特性を町内外に効果的に発信するため、町のイメージキャラクターを製作します。

◆募集締切

平成25年3月29日(金) 17時必着

◆募集内容

- (1) 愛南町の自然や食文化等を印象付けるといふ趣旨にふさわしいもの
- (2) 広く愛され、親しまれるイメージのもの
- (3) 着ぐるみへの活用が可能なもの
- (4) カラーで作成されたもの(グラデーションは不可)なお、単色での使用も想定。
- (5) 25mm×25mm程度に縮小しても見やすいもの
- (6) 封筒や名刺、看板、各種広報物など様々なPR媒体への掲載にふさわしいもの

◆応募資格

(1) 日本国内にお住まいの方。

(2) (プロ・アマは問いません)。

(3) お一人何点でも可

◆応募方法

(1) 自作で未発表のもの。作品は

●応募・問合せ先

〒798-4196

愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲

2420番地

愛南町役場商工観光課内

愛南町イメージキャラクター募集 係

TEL : 0895-72-7315

FAX : 0895-72-3517

e-mail: shokokanko

@town.ainan.ehime.jp

返却しません。

(2) 作品はA4判の白紙を使用、

デザインをはっきりと見やすく、上下がわかるように書く。画材は問いません。

(3) 用紙1枚に1作品

(4) 応募は持参・郵送、またはメール。

(5) 作品提出にかかる費用は、応募者の負担。

(6) 応募者の個人情報、今回の目的以外に使用しません。

◆選考

(1) 愛南町長を選考委員長とした選考委員会及び一般審査等での選定。(4月予定)

(2) 採用作品及び受賞者の氏名及び住所(市町村名まで)を発表。(最優秀受賞者へのみ通知)

◆賞

(1) 最優秀賞1点

(2) 賞金10万円と特産品詰め合わせ

優秀賞2点

特産品詰め合わせ

●その他注意事項等は、愛南町HPまたは愛南町役場商工観光課にお問い合わせください。

地域の魅力をPR! 町のイメージキャラクター

町の魅力を広く発信するイメージキャラクターが県内各町で作られています。どれも親しまれるデザインで、町の特徴を表すユニークなデザインです。紙面の都合から本号で4町のキャラクターを紹介いたします。

砥部町

●砥部町イメージキャラクター 「とべっち」

とべっちとは、砥部町の特産品であるみかん(「砥部焼」を使う)と、砥部陶街道五十三次を歩く「旅人」をイメージしています。



顔は、みんな大好きな「あまーいみかん」で、いつも笑顔満点! 頭には、砥部焼の特徴である藍色の唐草模様の「笠」をかぶって旅をしています。これからも、いろいろなところに旅していきますので、皆さんよろしくお願いします。



●砥部町観光キャラクター 「ななつめちゃん」

「ななつめちゃん」は、砥部町の特産品「ななれ小梅」をイメージしたものです。



また、砥部町の町花が「梅の花」であることから、砥部町観光キャラクターとして「とべっち」と一緒に、広くPRしていきます。

上島町

●上島町イメージキャラクター 「上島四兄弟」



僕たちは、時に家族のように互いに支え合い、時に他の島に対する小さなライバル心を抱く、そんな仲良し兄弟のような上島町の人々の心から誕生しました。

豊富に鯛やデベラ、タコが獲れる「魚島」、弥生時代の巨石(メンヒル)があり、スポーツ施設が充実している「生名島」、桜の名所であり、青いレモンの島として有名な「岩城島」、美しい松林、法王ヶ原があり、海が臨める宿泊施設のフェスパがある「三削島」と、上島町の島々は各々小さいけれど、魅力的な個性をもっています。

そんな上島町の観光情報やイベント情報は、上島町公式ホームページに掲載しています。http://www.town.kamijima.ehime.jp/ ぜひご覧ください。

久万高原町

●久万高原町のイメージキャラクター「ゆりぼう」

大好きな久万高原町のために、日々がんばっています。



町の花・ササユリを頭にかぶり、頭上にはきれいな星が輝いています。

服装は、山の緑、きれいな川をイメージしている「森の精」です。

ゆりぼうの日々のできごとや、久万高原町の観光情報などを、ゆりぼうブログ「ゆりぼこと遊ぼこ」で掲載します。 <http://ameblo.jp/kumakogen-yuribo/> 中へようこそ。

愛南町

●愛南町のイメージキャラクター

「ぎよしよく普及戦隊 愛南ぎょレンジャー」

愛南町では、愛媛大学と協力して「ぎよしよく教育」を推進しています。「ぎよしよく教育」とは、魚や水産業についての理解を深める総合的な学習で、魚や水産業のことを知るだけでなく、実際に魚に触って調理して食べるまでを行います。



その「ぎよしよく教育」で誕生したのが「ぎよしよく普及戦隊 愛南ぎょレンジャー」です。それぞれのキャラクターは、愛南町の特産品をイメージしており、町内の小学校児童が地域学習をしながらデザインし、南宇和高校美術部のアレンジにより完成しました。ぎよしよく教育用キャラクターとして登場するばかりでなく、愛南町の水産物を広くPRするために活躍します。

詳しくは、H.Aの「アザ愛南ぎょちゃん」をご覧ください。 <http://www.ainan-gyoshoku.jp/>

町村会・議長会 定期総会順序

平成25年 2 月22日(金)

於「松山全日空ホテル」

愛媛県町村会 第66回定期総会 3階 ローズルーム	愛媛県町村議会議長会 第64回定期総会 4階 ルビールーム
1 開会のことば 〈15時30分～〉 2 会長あいさつ 愛媛県町村会長 3 全国町村会長祝辞 全国町村会長【代理】 4 議 事 (1) 平成23年会務報告 (2) 平成24年度愛媛県町村会 一般会計補正予算 (3) 平成23年度愛媛県町村会 一般会計歳入歳出決算 (4) 平成25年度愛媛県町村会 事業計画 (5) 平成25年度愛媛県町村会 会費の分賦方法 (6) 平成25年度愛媛県町村会 一般会計予算 (7) 副会長の補欠選挙 5 閉 会 〈16時20分〉	1 開会のことば 〈15時30分～〉 2 会長あいさつ 愛媛県町村議会議長会会長 3 全国町村議会議長会表彰伝達 4 会議録署名人の指名 5 議 事 (1) 会務報告 (2) 平成23年度愛媛県町村議会議員 共済事業 特別会計 決算 (3) 平成25年度愛媛県町村議会議員 共済事業 特別会計 予算 (4) 平成23年度愛媛県町村議会議長会 一般会計決算 (5) 平成25年度愛媛県町村議会議長会 会務運営方針及び事業計画 (6) 平成25年度愛媛県町村議会議長会 会費の分賦方法 (7) 平成25年度愛媛県町村議会議長会 一般会計予算 6 閉会のことば 〈16時20分〉
○ 来賓祝辞 4階ダイヤモンドルーム 〈16時30分～ 17時00分〉 1 愛媛県知事 2 愛媛県議会議長 3 来賓紹介(愛媛県市町振興課長等)	
○ 意見交換会 4階ダイヤモンドルーム 〈17時10分～ 19時10分〉 1 愛媛県知事及び同議長 2 全国町村会長【代理】 3 県下町長及び同議長	

随 想

「夢と課題」

上島町議会議長 土居 計彦



上島町は瀬戸内海中央部に位置する島と島の町です。平成の大合併までは、それぞれの島が町や村として、自立していましたが、合併により一つの町となりました。

「しまなみ海道」沿いに位置しますが、海道への橋は架かっていません。町内の島を結ぶ二つの県道橋（弓削大橋・生名橋）は完成しましたが、住民の町内移動交通手段は未だ約半分が船便利用です。特に高齢者の多くは尾道市や今治市への移動は船便が頼りです。船便はフェリー、快速船等の旅客船が1日何便も町内各島を運航しています。特に経済、生活面（通院・買い物・旅行）でも広島県寄りの土地柄ですので、この航路は住民の大切な生活の足となっています。

今、最大の関心事は町内最後の県道338号岩城弓削線「上島架橋・岩城橋」の平成25年度からの本格的な工事着工への期待です。この橋が完成すれば、町内全域から岩城島の大手造船所や鉄鋼関係の会社への車等の通勤が可能となり、また農・漁業関係等の各種交流発展も期待され、経済効果は大変大きく、町の活性化に繋がります。

将来的には上島町から尾道市、また「しまなみ海道」へと繋がる夢の架け橋になることを切に期待するものです。



芸予汽船（今治～因島間）

【夢】

上島町には、広い海があります。

この自然の海を利用して「再生可能エネルギーの潮流発電」ができないものかと、最近目の前に広がる海を眺めるたびに大変気になります。干潮時には、昔は目の前の小島へも泳いで渡っていましたが、今は泳いで渡れないくらいの速い潮流が発生するのです。町内には、100年の歴史をもつ「国立弓削商船高等専門学校」があり、若い頭脳集団が日々勉強に励んでいますし、世界有数の高い技術力を備えた造船所もあります。この力を結集できれば、世界初の潮流発電装置も夢ではないような気がします。その夢の実現のためには町も議会も協力してできる限り応援したいと思っています。

【今後の課題】

- ① 都会の方に海と山と島の自然を満喫していただき、地域の伝統行事等も体験していただくため、多島美を生かした美しい町にしていかなければなりません。
- ② 島の特色を生かした企業の立ち上げや雇用促進のための企業誘致に取り組むこと。
- ③ 頑張って生きて、一人で生活できなくなった高齢者に年金で入居していただけるような低価格で利用できる老人ホーム等の建設をし

上から見た上島町



生名橋（生名島～佐島間）

- ④ 近い将来やって来る「道州制」施行までに特色ある町をつくり、どちらのブロックからも歓迎されるような、嫁入り道具を備えておかなければならないと思うこのごろです。

第4回定例会を開催

県町村議長会



平成24年度第4回定例会が、1月31日午後1時30分から「県自治会館会議室」において開催され、林会長、松澤副会長、土居上島町議長、小川久万高原町議長、政岡砥部町議長、関本松野町議長及び齋藤愛南町議長の7町議長が出席した。

会議は、次項により進められた。

- 1 開 会
- 2 挨拶 林会長
- 3 会議録署名人の指名
次のとおり指名した。

4 報 告

土居上島町議長
関本松野町議長

5 協 議

- (1) 専決処分について
平成24年度一般会計補正予算（第1号について）
- (2) 行事関係について
請願・意見書等に関する定例報告について
事務局から、説明があり、一同了承。
- (3) 平成23年度一般会計及び特別会計決算について
事務局から、内容説明があり一同了承。原案のとおり定期総会に提出することとなった。
- (2) 平成25年度一般会計予算（案）について
事務局から、①会費の分賦方法②予算案③会費の納入時期について説明があり一同了承。原案のとおり定期総会に提出することとなった。
- (3) 平成25年度共済事業特別会計予算（案）について
事務局から、内容説明があり一同了承。原案のとおり定期総会に提出することとなった。
- (4) 全国町村議会議長会表彰について
事務局から内容説明があり、

一同了承した。

(5) 第64回定期総会の開催要領について
事務局から、①総会次第（案）②役割分担等について説明があり、一同了承し、定期総会に提出することとなった。

6 その他

- ① 第54回四国地区議長会研修会について
- ② 四国四県町村長・議長大会について
- ③ 次回定例会について
その他
順次、事務局から説明があり、一同了承した。

地方公務員の 給与費削減強制反対 県選出国会議員に要請

県町村会

国家公務員給与削減措置に準じて、地方公務員の給与を引き下げる議論が行われています。

このため、県町村会では、1月23日に白石会長が県選出国会議員に面談し、「国から一方的に地方公務員の給与削減を強制することなく、地方において自主的な対応が図られるよう地方交付税の確保に配慮願いたい」と要望しました。

要望文は別記のとおり。

国家公務員給与の削減措置に準じた地方公務員給与の引き下げ論議に関する要望

現在、政府・与党内で、国家公務員給与の削減措置に準じて、地方公務員の給与を引き下げるのは当然との声が高まっており、平成25年度予算（案）の編成（地方財政対策）における大きな焦点となっている。

この問題に関しては、これまで、1月8日の地方六団体による新政権に対する要請活動において、自民党及び公明党の幹部並びに安倍総理、菅官房長官及び新藤総務大臣に、また1月10日の全国町村会正副会長による要請活動においては、自民党及び公明党の幹部並びに新藤総務大臣に対し、次の理由により引下げをしないよう強く要請してきたところである。

- 1 地方は給与の独自削減や人員削減を行うなど既に国を上回る不断の行革を実施していること
- 2 今後の地方公務員給与については、国・地方を通じた中長期的な行財政改革の中で協調していくことが必要であること
- 3 町村にとって地方交付税は命綱であり、これとリンクして地方公務員の給与削減を強制するようなことは到底納得できないこと
- 4 給与の独自カットなど既に相当の行革努力を行っている地方団体も含め、一律に削減するようなことは不合理であること

我々地方自治体は、これまで職員数の大幅な削減や独自の給与費削減など、国を上回る行政改革を行ってきたところである。しかるに、政府・与党内は、こうした地方の努力を見ないばかりか、強制的に給与の削減を求める姿勢は納得できるはずもなく、到底受け入れられるものではない。

以上のようなことから、平成25年度予算（案）の編成に当たっては、上に述べた地方側の主張をご理解いただき、国から一方的に地方公務員の給与削減を求めることのないよう断固要請するとともに、地方が自主的かつ適切な施策を推進するための地方交付税総額の確保に十分配慮されるよう強く要望する。

平成25年 1月23日

愛媛県町村会 会長 白石 勝 也

全国監査委員協議会定期総会 監査制度の充実強化を！



総会議長をつとめる上甲本県会長

全国町村監査委員協議会の「第22回定期総会」が、1月18日、「全国町村議員会館会議室」において開催され、関係県の会長、事務局局長ら約60人が出席。本県からは上甲会長（鬼北町代表監査委員）及び事務局職員が出席した。

総会は、北口全国会長職務執行者（北海道）のあいさつに始まり、左記のとおり進められた。

- 1 議長選出
荒井埼玉県会長を選出。
- 2 議事録署名名人の指名
- 3 議事

日程第2 報告第1号 会務報告

会長から一年間の会務の状況の報告があった。

日程第3 承認第1号「平成23年全国町村監査委員協議会決算」事務局から決算説明があり、異議なく承認された。

日程第4 議案第1号「平成25年度全国町村監査委員協議会事業計画及び予算」を議決

日程第5 議案第2号「決議」を原案のとおり決定。

日程第6 議案第3号「監査機能の強化に関する要望」を原案のとおり決定。

日程第7 協議第1号「実行運動

方法」を決定。

日程第8 選任第1号「役員を選任」を行い、榊田徳島県那珂町代表監査委員が会長に選任された。

決 議

われわれ町村監査委員は、厳しい町村財政の中、行政に対する住民の信頼を確保し、透明性のあるものとしていくため、日々研鑽を積み努力を重ねている。

しかしながら、町村における監査体制は、その課せられた義務と責任を十分に果たすには厳しい現状にある。

このため、研修、事務局体制の充実強化をはじめ、監査活動費の確保等監査機能の充実強化が緊急の課題である。

本日、ここに「全国町村監査委員協議会第22回定期総会」を開催し、町村監査委員相互の緊密な連携のもと、決意を新たに、下記事項の早期実現に向け、組織を挙げて邁進することを表明する。

記

- 1 監査機能の充実と監査体制を強化するため、監査事務局体制を整備する。
- 2 監査の充実を期するため、必要な監査活動費を確保し、監査委員の職務にふさわしい報酬とする。
- 3 全国の町村監査委員の声を結集するため、未加入団体の全国協議会への早期加入を促進する。

以上、決議する。

平成25年 1 月18日

全国町村監査委員協議会 第22回定期総会

監査機能の強化に関する要望

すべての地方公共団体が自ら責任ある監査を実施するため、監査の独立性・専門性をさらに強化する必要がある。

よって、下記事項の実現を強く要望する。

記

- 1 監査体制の強化
 - (1) 地方公共団体に係る監査は、個々の団体ごとに、監査委員及び補佐する専任の監査事務局職員により、責任をもって実施することが基本であることを明確に位置づけること。
 - (2) 監査委員事務局は、監査委員に当然に付帯するものとして、市町村についても設置を法律で明確に規定するとともに、中立公正の立場で監査委員の職務を適切に補佐する旨を明記すること。
- 2 監査委員の独立性の確保
監査の独立性を図るため、監査委員は議会において選任できるようにすること。
- 3 外部監査の見直し
地方公共団体が外部監査を活用する場合に、独立性・専門性が高く、低廉なコストで外部監査が実施できる地方公共団体共同の監査法人組織について検討すること。

平成25年 1 月18日

全国町村監査委員協議会 第22回定期総会



冬空の赤い星

冬季の空は、星が四季の中で一番きれいに見える。中でもオリオン座の左上の赤い星・ベテルギウスは、地球から500光年離れ、太陽の大きさをメダカに例えたと鯨に匹敵する巨大星。宇宙のちっぽけな地球のわが国の1月では、14日が成人の日である。次世代を担うわが国の新星である今年の新成人は、130万人を切った。

わが国の昨年1年間の出生は103万3千人、死亡者は124万5千人(厚生労働省の人口動態統計推計)、人口の自然減は続いている。50年後には人口8千600万人の推計。昨年の合計特殊出生率は約1・39、離婚率の増加など人口減少は加速気味と云う。平均寿命84歳からして、喜ばしい超高齢化と少子化社会は、当然の図式である。国家は人口数にあらわず中身であり、それなりにあらゆる対応策を構築することにある。

さて、先の政界地図変わりから、経済は一気に陰から陽へ、景気は「気分」と云われるが、まさに株価は上がり、円安の方向にある。是非、強固な安定路線での経済走行を願いたいものである。

スイスの保養地ダボス(世界経済フォーラム年次総会)で、わが国の「2%の物価目標でデフレを脱却する!」声明も評価されたはず。ドイツの首相からの円安誘導と批判めいた

コメントもあるが、カナダ等宰相から歓迎のコメントもある。方や、他に類のないような借金を抱えた財政状況の中で、世界の低開発国等への貢献度アップに、わが国自身が、もっと胸を張るべきであろう。さらに諸外国へ、自国の利益のみに動いていない現状説明を怠らないようにしたい。今年の年始、八百万の神が鎮座し、無宗教国と云われる日本人の大方、約8千万人が初詣に行つたと云う。七・五・三にはお宮参り、春・秋まつりは氏子として神社と一体となり、結婚式は教会で、厄除けは寺・神社へ、人生最終行事・葬式は仏式、最後は土など自然に戻る。極めて合理的な日本人。

この度のアルジェリアのプラント施設人質事件は、小さな地球の中にあって、グローバル社会のひずみなのか?、宗教か?、ことばにならない悲しい出来事である。いかなる「正義」にも、無防備の人の殺戮は許されない。「正義とは、正しい道筋。人の行うべき正しい道義」とある(広辞苑)。「宗教を持つ者は「神様に頼る」が、日本人は神様に頼らないため宗教の対立はおこらない。」(某宗教学者)国内にあって、教育の体罰は、戦前より多いとのこと。時代(社会・環境)の変化に伴う人間資質の変化を皆が見落とさず、認識すべきであろう。ここは、皆が、今一度、冬の空を見上げ、赤い星・ベテルギウスを遠望し、深呼吸!。

(丁)「あまり多く有用なものが生産され過ぎると、役に立たない人間が多くなり過ぎる結果となる。」(マルクス ドイツの経済学者)

1月の会と催し

- ▽4日≡2013年年賀交歓会、愛媛県市町村総合事務組合議会議員全員協議会
- ▽8日≡県人権対策協議会平成24年年賀交歓会
- ▽10日≡全国町村会正副会長・監事合同会議、同正副会長会及び実行運動、全国町村議会議長会次期会長に関する要請
- ▽16日≡公務災害連合会連絡会議、「創ろう!シルバーセーフティ愛媛」推進会議
- ▽17日≡全国町村議会議長会連絡調整会議、全国町村監査委員協議会幹事会、同役員会、同会長・事務局長懇談会
- ▽18日≡全国町村監査委員協議会第22回定期総会、愛媛県町村会第4回全員連絡会
- ▽20日≡自民党県連市長町長合同新年会
- ▽22日≡全国町村会政務調査会財政委員会、第46回海外地方行政調査団報告会、第9回えひめ愛媛の助け合い基金運営委員会
- ▽24日≡全国町村会正副会長会、(財)全国自治協合理事会・災害共済委員会、全国町村職員生活協同組合理事会、全国町村会理事会、都道府県町村会長会、全国町村職員生活協同組合総代会、都道府県町村会正副会長交流会
- ▽25日≡全国山村振興連盟支部事務局長会議
- ▽31日≡愛媛県町村議会議長会第4回定例会

編集後記

年が明けたと思ったら、明日から2月、三寒四温の候となりました。これから温かくなったり寒くなったりしながら春がやってきます。

♪春よ来い 早く来い あるきはじめたみいちゃん 赤い鼻緒のじよじよはいて おんもへ出たいと待っている♪

大好きな童謡の一つです。印象として童女の視点で春を待ち望む人々の思いが伝わります。嗚呼、春待ち遠しい。

◇ 先日、意表を突かれました。昔から男性が年上の女性と結婚する場合に「金の草鞋をはいて」と言われていたと思います。僕はこの金を「きん」と読んでいたのですが、これは誤りだと。正しくは「かね」と読むそうで、いやあ参りました。なんでも聞いてみないと分からないものです。ちよつと恥ずかしかったです。

◇ 今月の会報では、各町のイメージキャラクターをご紹介しました。どのキャラクターも、町の特徴や自然景観・食文化などの魅力が親しまれるデザインで作られており、町のPRに大きな役割を果たしています。バリエーションに負けるな!

◇ 本年もスタッフ一同、一生懸命がんばりますので、倍旧のご支援とご協力をお願い申し上げます。